

授業科目名	動物医療看護学Ⅰ		科目コード	2303025	
開講クラス	動物健康管理学科	コース	動物園・水族館・ドッグインストラクターコース	学 年	2年
担当教員	野崎 佳織				
	実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無) 実務経験内容 愛玩動物看護師 動物病院にて約 10 年間動物の診療補助、看護に従事 現場での経験をもとに、事例を出しながら授業を行う				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	31 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	動物看護実習テキスト第3版			
	著 者	動物看護師養成専修学校教科書作成委員会			
	出版社	株式会社 エデュワードプレス			
使 用 テキスト 2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<p><授業の目的・目標> 動物の医療現場で使用する基本的な器具・用具の説明から、簡単な臨床検査の講義も行い、動物病院ヘインターン実習に行った際に内容が把握できることを目標とする。</p>					
<p><授業の概要・授業方針> まず動物病院の役割や仕事内容を説明し、動物病院の業務内容を知ってもらう。その後、動物看護師が行う診療の補助に必要な保定、動物の健康状態を把握するための全身検査、バイタルサイン、医療器具の正しい扱い方、簡単な臨床検査について学習する。</p>					
<p><成績基準・評価基準> 前期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ筆記試験が受験できない100点満点中80~100点を優、70~79点を良、60~69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、追試においては60~100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。</p>					
<p><使用問題集・注意事項></p>					
<p><授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> 動物医療看護学Ⅱ</p>					

授業科目名		動物医療看護学Ⅰ
回	授業内容	備考
1	科目概要、学習目標 動物病院の役割、動物看護師の仕事内容 看護とは	
2	コンパニオンアニマルの適切な飼育法	
3	動物飼育に関する技術	
4	衛生管理・入院管理	
5	入院動物の看護	
6	診療補助① 犬の基本的な保定法	
7	診療補助② 猫の基本的な保定法	
8	診療補助③ 身体検査とバイタルチェック	
9	調剤① 薬剤の形状、調剤に使用する器具	
10	調剤② 投薬方法	
11	注射法① 注射の目的、方法	
12	注射法② 注射に使用する器具	
13	輸液管理① 輸液の目的、輸液法	
14	輸液管理② 輸液に使用する器具	
15	前期まとめ	
16	糞便検査 意義、使用する器具、検査方法	
17	尿検査 意義、使用する器具、検査方法	
18	皮膚検査、耳検査 方法、使用する器具	
19	眼科検査、神経学的検査 方法、使用する器具	

20	顕微鏡について	
21	血液について	
22	血液検査 意義、使用する器具、検査方法	
23	検査（レントゲン・エコー・心電図） 意義、使用する器具、検査方法	
24	外科手術の看護	
25	リネン類、器具の準備	
26	気管挿管・血管確保・輸液	
27	術野の毛刈りと消毒	
28	手洗いおよび術衣、手袋の着用	
29	滅菌、汚染の区別／術創の保護／術後のバイタルチェック	
30	麻酔・鎮痛について／麻酔モニタリング	
31	まとめ	